

## タイムカプセルの掘り起こし

1月8日(土)に、タイムカプセルの掘り起こしを平成25年度の卒業生が行いました。このタイムカプセル事業は、社北小学校PTA結成60周年事業として平成22年度から行われています。学校の敷地にタイムカプセル広場を造成し、毎年6年生が卒業記念にタイムカプセルを埋め、二十歳の時に掘り起こしています。掘り起こしの日時を社北公民館事業の「二十歳の集い」に合わせて開催しています。



この日、40名あまりの新成人の卒業生が集まり、久しぶりの再会にお互いの名前を確認し合い、懐かしさに笑顔が溢れていました。



数名がスコップを持ち、土を掘り起こしていきますが、なかなか見つかりません。「こんなに深く埋めたかな」などと昔のことを思い出しながら掘り進みました。ようやく「コツン」とスコップが掘り当てた音がして、慎重にタイムカプセルを掘り出しました。記念に、掘り出したタイムカプセルを囲み児童玄関前で写真を撮った後、公民館へ移動してタイムカプセルを開封しました。



中には、小学校6年生当時に書いた「自分宛の手紙」が入っています。カプセルの中は湿気やカビの影響もなく、書かれた当時のまま手紙が保存されていました。新成人の卒業生たちは、自分宛の手紙を読みながら、「小学生の自分ら、カワイイ」と言ったり、思わず笑ってしまったりしていました。



社北公民館が新成人の小学生の頃の様子を編集した映像も披露され、みんな映像を見ながら小学生の頃を思い出し、自身の成長を改めて感じているようでした。



また、近況報告では、地元で就職して頑張っていることや県外の大学で学んでいること等が紹介され、卒業生はそれぞれの未来に向けて自分らしく進んでいるようでした。